

おわりに

長崎大学薬学部教授
中嶋 幹郎

平成24年12月に組織された「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が主体となって展開している文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」事業（平成24～28年度）も平成27年度は4年目に入り、今年度は事業の完結に向けた取組と終了後の継続に向けた活動を平行して行う年になりました。幸いにも文部科学省が実施した「大学間連携共同教育推進事業」中間評価において、全国の地域連携分野25取組のなかで唯一のS評価（5段階評価の最高位）を頂き、追加予算が配分されました。その結果、「NICEキャンパス長崎」での大学間単位互換科目の開講と「長崎県民フォーラム」の定期開催に加えて、当初計画には無かった新規事業として3大学の学長が出席する「特別企画シンポジウム」の開催と授業内容のエッセンスをまとめた動画を学生等がホームページを通して自由視聴できる「在宅がん医療・緩和ケアWEB講座」の制作を行うことができました。来年度はいよいよ本補助事業の最終年度になりますが、本部委員会委員長の松坂先生の強いリーダーシップの下、事業終了後の継続に向けた活動も含めていっそう事業の推進を図ってまいります。

本年度、本事業のためにご講演頂きました講師の先生方、また講義・実習にご協力頂きました関係機関の皆様方に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも本コンソーシアムの活動に対する変わらないご支援とご指導を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

長崎県立大学看護栄養学部看護学科教授
堀内 啓子

「在宅医療福祉コンソーシアム長崎」は平成27年度で4年を迎えました。今年度は、講義6科目、演習2科目、実習3科目を開講しましたが、加えてこれまでの取組が文科省の『中間評価』で高く評価されました。これも本事業の推進にご尽力を頂きました多職能団体及び関係機関の皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

今年度、本学の看護・栄養健康学科生の開講科目への履修者は50名で、このうち半数が1年生と、事業計画に示した目標値を達成することができました。さらに、この取組への関心は看護・栄養健康学科生ともに学年を通して見られ、履修した学生は、各科目内容を高く評価していました。特に「実習」科目は、現在の学科教育には、地域や在宅医療の現場で他大学の他専門学部生と共に学ぶ機会がないだけに、大変満足度が高く、本事業による連携教育の意義とその効果を改めて感じているところです。そしてこれらの学生の反応は、事業終了後の継続科目を考える際の大きな示唆となると考えています。

また県民フォーラムでは、在宅医療や地域包括ケアの著名な実践者の講演会を開催し、一般の方、学生、関係職種の多くの参加者から満足感と共感のアンケートが寄せられ、がん医療や在宅ケア、地域包括ケアを当事者の立場で受け止めていただけたと感じています。

そして今年度も、各大学担当の「県民フォーラム」のポスターは、本学、情報学部情報メディア学科生が、事業のメッセージを素敵なデザインにして作製してくれました。

なお、今後は、授業科目や科目内容の精選、特に履修者の確保が、各大学ともに大きな継続課題となります。対応については教員が協働してつとめてまいります。皆さまには引き続きのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

長崎国際大学薬学部長
榊原 隆三

「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」は、平成24年度大学間連携共同教育推進事業「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」を推進するため、長崎県内の大学・職能団体・行政およびNPO法人から組織され、4年が経過しました。本事業の推進のための大学の責務は、在宅医療と福祉、がん緩和医療と福祉に対する使命感や志を持つ学生を一人でも多く育て地域に送り出したいという点にあります。長崎国際大学の薬学部、健康管理学部、人間社会学部の3学部は、本コンソーシアムの一員として、それぞれの特徴を活かした事業参画および活動を行ってまいりました。平成27年度は、「在宅医療概論」、「在宅チーム医療早期体験学習」、「地域包括ケア早期体験学習」、「地域包括ケア特論」、「在宅がん医療・緩和ケア実習」を開講し、多くの学生に在宅医療・福祉およびその実践に極めて重要な意味を持つ多職種連携に関する啓発活動を実践することができました。さらに、各種専門職および一般市民の方に在宅医療・福祉および緩和ケアについてご理解を深めていただく目的で、「長崎県民フォーラム」を昨年に引き続き開催しました。本年度は、「みんなで支えあおう！『在宅ケア』」と題して、「高齢社会に向けた栄養と食事～在宅栄養療法のトピックス～」、「栄養士が在宅でできること…～それいけ！管理栄養士!!～」の2題の講演を長崎国際大学において主催いたしました。多くの市民、学生の方々に出席していただき、身近になった「在宅ケアと食」の諸問題について活発な討論を行うことができました。この場をお借りしてご講演いただいた講師の先生方、また講義・実習にご協力いただきました関係機関の皆様方にお礼申し上げますとともに、今後とも、「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の活動に対するご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。